

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県「ミナレク運動」推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 ねんりんピック推進事務局 交流大会係 電話番号：058-272-1111(内2964)

E-mail：c11175@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 70,054 千円 (前年度予算額：23,133 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,133	0	0	0	0	0	0	0	23,133
要求額	70,054	0	0	0	0	0	0	0	70,054
決定額	70,054	26,592	0	0	0	0	0	0	43,462

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の成果を未来に繋げ発展させるため、県民皆が1つレクリエーションを実践する「ミナレク運動」をさらに推進し「明るく健康で、笑顔あふれる岐阜県づくり」につなげる。

(2) 事業内容

- ①ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催（16,758千円）
 - ・開催会場…ミナレクパーク（旧5圏域レクイベント）
交流大会(旧種目大会)、ミナレクチャレンジ
市町村協賛イベント、ねんりんピック関連イベント
- ②レクリエーション推進団体の認定（111千円）
 - ・ミナレク運動の推進及び裾野拡大に向け、レクリエーションやスポーツに親しむための行動計画を作成し実践する団体・学校等を認定
- ③レクリエーションスポーツの全県的な普及拡大（53,185千円）
 - ・レクを通じた健康づくりの全県的な普及を図るため、派遣指導者による講習会を実施するほか、レク推進団体活性化事業等を実施。
 - ・ミナレク運動推進の支えとなる市町村レクリエーション協会の育成
 - ・ミナレク運動を県民に広く知ってもらうためのPR事業

(3) 県負担・補助率の考え方

誰もが気軽にできる、レクリエーションスポーツは、スポーツを普及する有効な手段と位置付け、清流の国ぎふスポーツ推進計画において、成人のスポーツ実施率65%を目指しているところであり、県内各層への普及促進を図るうえで県の実施は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容		金額	事業内容の詳細
①ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの開催	旅費	489	職員旅費
	消耗品費	200	事務消耗品
	燃料費	74	公用車ガソリン費
	役務費	100	通信運搬費
	負担金	15,895	実行委員会県負担金
小計①		16,758	
②レクリエーション推進団体の認定	旅費	36	職員旅費
	消耗品費	33	認定証用紙等
	役務費	8	通信運搬費
	使用料	34	認定会場借上げ料
小計②		111	
③レクリエーションスポーツの全県的普及	委託料	53,185	派遣指導者による講習会、市町村レク協会の育成、レク推進団体の活性化
小計③		53,185	
合計(①～③)		70,054	

決定額の考え方

財源については、地方創生推進交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、平成28年度に開催された「全国レクリエーション大会in岐阜」を引き継いだ大会として平成29年度より実施している。令和4年度以降は次期ねんりんピック開催につなげるイベントとして継続して実施する。

県民がレクリエーションに親しむことにより、健康な高齢者となることを目的としており、継続して事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

県民が気軽に参加できるレクリエーション運動の普及を図るため、レクリエーション推進団体500団体以上を維持しつつ、今後、レクリエーション推進団体の取り組み内容について年間10団体を紹介する。合わせて、1日1回はレク指導者派遣の実施、年間のレク指導者派遣回数を365回とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	達成率
①レクリエーション推進団体の紹介	0団体	-	10団体	20団体	50団体 (R7)	20%
②指導者派遣回数	219回	219回	200回	350回	365回 (R5)	60%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>令和2年7月 実行委員会総会（書面） 令和2年9月1日～令和3年2月28日 んご清流レクリエーションフェスティバル開催</p> <p>んご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での種目大会を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。 派遣指導者によるレクリエーションの講習会を実施し、これまでにレクリエーション推進団体を563 団体（R02： 145 団体）認定した。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>ぎふ清流レクリエーションフェスティバル、レクリエーション指導者派遣の拡大等を実施することで、県民がレクリエーション運動を行う機会が増え、健康維持や体力向上、更にはスポーツ実施率の向上に繋がるため事業の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>ぎふ清流レクリエーションフェスティバルは、コロナ禍の中、感染拡大防止に配慮しながらミナレクチャレンジ等を各圏域で開催ができ、レクリエーションの普及拡大に期待以上の成果があった。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県、県レクリエーション協会、主要市町村、主要市町村レクリエーション協会で構成する実行委員会形式をとっており、各方面と連携し、適切な運営が図られていると考える。</p>

(今後の課題)

--	--

(次年度の方向性)

	<p>引き続き、県民の日常生活の中での「体、心、頭」の健康を増進し、誰もが健康寿命の延伸を図ることができる社会「明るく健康で笑顔あふれる岐阜県づくり」の実現に取り組む。</p>
--	--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	